

患者さま1人1日あたりの  
リハビリ提供時間

1日平均

**2時間 40分**

〈全国平均2時間11分〉

平均在院日数

**70.7日**

〈全国平均83.3日〉

在宅復帰率

**79.5%**

〈全国平均73.1%〉

FIM利得

**30.0点**

〈全国平均24.0点〉

専門資格 脳卒中リハビリテーション

脳神経外科専門医

【脳神経外科】



古庵 葉子

- Koan Youko -

一般社団法人 日本脳神経学会  
脳神経外科専門医

リハビリテーション専門医

【リハビリテーション科】



瀧本 泰生

- Takimoto Yasuo -

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会  
リハビリテーション専門医  
一般社団法人 日本血液学会  
血液専門医  
一般社団法人 日本内科学会  
認定内科医

リハビリスタッフの資格

- ・脳卒中認定理学療法士3名
- ・日本摂食嚥下リハ学会認定士1名
- ・ドライビングセラピスト3名
- ・3学会呼吸療法認定士4名
- ・回復期セラピストマネジャー2名



〒730-0047 広島市中区平野町6番24号

動く&食べる&働く

社会復帰を支援します



脳卒中リハビリテーションのご紹介

広島中央リハビリテーション病院



ホームページ



パンフレット



訪問リハビリ



透析センター



無料Wi-Fiを  
ご利用いただけます

# 脳卒中リハビリテーション

チーム医療を通して患者さまの生活機能回復を図り、医師をはじめ多職種協働の中でそれぞれが専門性を発揮し、社会復帰の支援をしています。

Point.  
**1**

## 課題志向型のエビデンスに基づいた理学療法



### 積極的な機能改善アプローチ

免荷式走行レーンや Nustep やなどの多彩な機器を使用し、積極的な機能回復を目指します。



### リハビリテラスでの実践的な歩行練習

屋上のテラスでは、外周歩行や砂利道、階段、スロープ、段差など、ご自宅の周辺環境に近い状態でリハビリができます。

Point.  
**2**

## 日常生活の質を上げる作業療法



### 麻痺や運動機能障害の改善

CocoroeAR2・IVES を使用し麻痺や運動機能障害の改善を図り日常生活の向上につなげています。



### リハビリハウスでの生活動作練習

2LDK の模擬ハウスは、段差や狭い廊下など、ご自宅に近い間取りや空間で、より実践的な練習を行うことができます。

Point.  
**3**

## 多面的な評価に基づいた言語聴覚療法



### 充実した言語機能・高次脳機能評価

運転再開を希望される方に必要な、認知機能の評価バッテリーである SDSA を使用しスクリーニングを行っています。



### 摂食嚥下リハビリテーション

嚥下内視鏡検査 (VE) や嚥下造影検査 (VF) など、摂食・嚥下障害の精密検査を行い、飲み込みの評価と機能の改善を図ります。

Point.  
**4**

## 「できる」から「している」へ

### 積極的な生活場面への介入

病棟では、リハビリ時間以外も看護師や介護士が積極的に生活場面への介入を行っています。患者さまの在宅生活で必要とされる行為に対し、リアルタイムに介入を行う事で能力の向上を図ります。



Point.  
**5**

## 義肢装具チームによる早期の歩行能力をサポート

### 適切な義肢装具の選択

義肢装具チームには、各病棟の理学療法士が所属しており、医師や看護師、義肢装具士など多職種と連携し、患者さまにとって最適な義肢装具を選択し、その機能を最大限に発揮できるよう支援を行っています。



Point.  
**6**

## 摂食嚥下チームが患者さまの「食べる幸せ」を支援します

### チームによるリハビリ・ケア

歯科衛生士は口腔衛生、言語聴覚士は嚥下へのアプローチ、管理栄養士は栄養管理など多職種が専門性を活かし、連携して支援しています。



Point.  
**7**

## 自動車運転支援チームによるアプローチ

### 「もう一度運転したい」想いをサポート

自動車運転再開を希望される方に、車の乗降も含めた身体機能や、運転に必要な高次脳機能評価を行い、医師をはじめとする多職種と複合的な判断を重ね、自動車運転支援チームがサポートを行います。



## 患者さまの「社会復帰」を支援します。

復職などの就労希望がある方を対象に、多職種協働で就労に必要な各種検査の評価および動作練習を行います。必要に応じ、患者さま、ご家族、就労先の職場や障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターなどの関係機関と連携を図り、社会復帰を支援します。

### 【当院を退院された患者さまのケース】

A さん (女性) 50 歳代 入院期間: 約 2 か月

病名: くも膜下出血

症状: 高次脳機能障害 (注意障害・記憶障害など)

職業: 会社員 (IT 関連)

### ①入院初日

患者さま・ご家族から復職の意向や現在の職業の状況 (お仕事の内容など) を詳しくお聞きします。

### ②復職に向けてリハビリ実施



## 仕事内容や通勤等を想定し、患者さまに合わせた職場復帰に必要なリハビリテーションをご提供します。

### 理学療法

- ・体力面の強化
- ・公共交通機関などを利用した移動練習

### 作業療法

- ・模擬動作、実動作練習
- ・職場と連携し、復職時の課題解決や代替手段の提案

### 言語聴覚療法

- ・パソコン操作や電話対応などの机上課題
- ・就業場面でのアプローチ、コミュニケーション支援



### ③就労支援

患者さま、ご家族、主治医も交え、会社の労務担当者や職場復帰の時期や仕事内容などリハビリの進捗状況も踏まえた意見交換を実施。仕事内容や職場復帰のタイミングの確認。

### ④退院

ご自宅に退院。訪問リハビリ開始。隔日の勤務で職場に復帰。